

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 貞岡川 砂防事業に伴う測量設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. R2-HS-1	調査位置	広島県東広島市志和町別府 地内	北緯	34° 28' 30.8957"
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所	調査期間	令和2年11月27日～ 令和2年12月 1日	東経	132° 37' 38.4021"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ	ア	鑑	定	者	ボーリング責任者
孔口標高	T P 291.78m	角		方	地盤勾配
総削孔長	5.00m	度	0°	向	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	東邦地下工機 DO-C型	エンジン	ヤンマー NS-110EK型	ポンプ
					東邦地下工機 BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日						
											深度 - N 値 図			深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深			試料採取番号					
	291.48	0.30	砂質土	砂質土	暗褐色	rd2			表土 ・腐植及び草根混じる黒褐色の腐葉土が主体 ・砂は細-中粒砂 ・山地崩壊堆積物が主体を成す	12/10	0	1.15	1	1	2	4										
1			隠混り砂質土	隠混り砂質土	暗褐色	rd3			・砂は細-中粒砂 ・山地崩壊堆積物が主体を成す ・礫はφ10-40mm程度の中-粗礫が混入 ・花崗岩質礫が主体で、クサレキ点在 ・砂は細-粗粒砂、粒径幅広く粒度不均	3.45	4	1.45														
2	289.58	2.20							・花崗岩質礫が主体で、クサレキ点在 ・砂は細-粗粒砂、粒径幅広く粒度不均		50	2.15	50			50	50									
3			花崗岩	花崗岩	淡褐色				白亜紀後期黒雲母花崗岩 (GM) ・Gl-4, 85-4, 95m間、緩斜の節理で脆弱化し礫-岩片状を呈す ・岩頭以下Gl-2, 70mまでの上部は岩質心や軟質化、採取試料は義く掌で圧潰可能 ・節理面の一部は暗褐色に変色、黄灰色の膠着物が存在 ・採取試料は岩片-短柱状、コア肌は粗面 ・ハンマーの打撃では溜音を発する ・岩質はやや堅硬なるも水平-緩い斜状の節理が不規則に発達 ・岩相比較的均質な細粒黒雲母花崗岩		50	3.00	貫入不能	50	0											
4																										
5	286.78	5.00																								
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										